

2026 年度学術フロンティア講義 TA 募集要項

思い乱れるリベラルアーツ:「触れる」

■ 日時・教室

2026 年 10 月 2 日～2027 年 1 月 22 日の金曜日 2 限（10 時 25 分～11 時 55 分）

駒場 I キャンパス 1 号館 120 教室

※対面開講（初回のみオンライン）

※10 月 23 日は休講、11 月 27 日（補講日）に実施

※12 月 25 日は本郷キャンパス・史料編纂所で実施予定

■ 業務内容

1. 授業中の補助業務（録音・録画、機材準備等）
2. 授業後の講義報告作成（各回 1,000 字前後、全 13 回）。
これまでの講義報告は以下のページをご参照ください。
https://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/theme_lectures/
3. 出席名簿の作成、出席状況および学生コメントの集計。

■ 募集人数

1～2 名

※1 名で全期間を担当するほか、2 名で前半・後半を分担する形も可能です。

■ 勤務条件等

- ・勤務時間は週 5 時間程度を予定しています。
- ・時給は TA 規定に基づき、以下のとおりです。
博士課程在学学生：1,670 円
修士課程在学学生：1,450 円
後期課程在学学生：1,230 円
- ・業務には、原則としてご自身のノート PC をご使用いただきます。

■ 応募方法

希望者は、氏名・所属・学年・担当可能期間を明記のうえ、下記連絡先までメールでご連絡ください。

LAP 事務局：admin@lap.c.u-tokyo.ac.jp

■ 応募締切

2026 年 9 月 25 日（金）

講義概要

私たちは、ものに触れ、他者に触れ、さまざまな環境と接触しながら生きています。触れることは、世界を知るための最も基本的な経験の一つです。同時に、何かに触れるとき、私たち自身もまた触れ返されています。「触れる」とは、一方向の働きかけではなく、自分と外部との境界が揺れ動く出来事だといえるでしょう。

しかし、「触れる」ことは、いつも同じ意味をもつわけではありません。ある接触は安心や親密さ、ケアを生み、別の接触は不快感や侵入、支配、暴力として経験されます。触れることが許される場面もあれば、禁じられる場面もあります。誰が、誰に、何に、どのような条件で触れてよいのか。その境界は、身体感覚だけでなく、社会的な規範、文化、歴史、権力、技術によって形づくられています。

本講義では、「触れる」ことを皮膚に生じる触覚に限定せず、人と人、人と物質、身体と空間、人間と技術、現在と過去、自己と他者のあいだに生じる多様な接触の出来事として捉えます。そのうえで、自然科学、工学、人文社会科学、芸術など、多様な分野から提示される知見や問いを手がかりに、そのさまざまな側面を考察します。一つの定義や結論を求めるのではなく、分野によって異なる問いの立て方を学び、同じ接触が異なる角度からどのように見えるのかを考えます。

さらに本講義では、学生自身が身の回りの触覚を「集める・記録する・再現する」ワークショップを1回実施します。言葉、図、音、映像、素材などを用いて触覚を捉え、別の場所や身体に伝わる形へと翻訳した成果を授業内で発表し、講評を受けます。この一連の試みを通して、触覚は保存できるのか、他者と共有できるのか、別の媒体へ翻訳できるのかを考えます。

「触れること」と「触れられること」から、自分と世界との関係を捉え直すこと、そして、それぞれの学生が自分にとっての「触れる」ことを発見し、そこから新たな問いを立ち上げること。それが本講義の狙いです。

■ 講師一覧

【2026 年】

- 10 月 2 日 オンラインガイダンス
- 10 月 9 日 広瀬浩二郎（国立民族学博物館人類基礎理論研究部）
- 10 月 16 日 稲見昌彦（東京大学先端科学技術研究センター）
- 10 月 23 日 休講
- 10 月 30 日 遠藤利彦（東京大学大学院教育学研究科）
- 11 月 6 日 篠田裕之（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
- 11 月 13 日 豊田正嗣（埼玉大学大学院理工学研究科）
- 11 月 27 日 松井裕美（東京大学大学院総合文化研究科）
- 12 月 4 日 熊田陽子（国際ファッション専門職大学国際ファッション学部）
- 12 月 11 日 青山英正（東京大学大学院総合文化研究科）
- 12 月 18 日 松田雄二（東京大学大学院工学系研究科）
- 12 月 25 日 高島晶彦（東京大学史料編纂所）※本郷キャンパスにて実施予定

【2027 年】

- 1 月 8 日 ワークショップ講評
- 1 月 22 日 保立道久（東京大学史料編纂所名誉教授）